



2023 二十歳の集い

フотスナップ

成人年齢が18歳に引き下げられたことにより、成人式の名称を「二十歳の集い」に改めてから初めての式典がANCアリーナで開かれました。本年、市では1,056人（男性545人、女性511人）が20歳となり、712人が参加。式典では、安曇野市出身のアイドル森下舞桜さんからのビデオメッセージがオープニングで放映されました。代表であいさつをした高倉誠也さんは「20年間お世話になったすべての人に感謝し、一步一步を大切に生きていきたい」と決意を語りました。

20 HATACHIの抱負！ 会場の二十歳の皆さんにインタビュー

二十歳の人生の節目にこれからの目標や夢を聞きました。



新 春の澄んだ空気を感じて

1月1日 新春さわやか元旦マラソン



本年度45回目となる新春さわやか元旦マラソンが拾ヶ堰沿いのコースで開かれ、201人が参加。参加者は2キロ・3キロ・5キロの3コースから体力に合わせたコースを選び、元日のさわやかな青空の下で走り初めを楽しみました。

今年で4回目の参加となる丸山淳一さん(50歳)は「好天のなかを家族と一緒に走れて良かった。今年も家族の健康を願いながら走った」、息子の悠斗さん(8歳)は「今年はバドミントンを頑張りたい」と新年の目標を話してくれました。

予 消防への決意新たに1年のスタート

1月8日 安曇野市消防出初式



市消防出初式が豊科公民館ホールを主会場に開かれました。式典には約320人の団員が参加。功労のある団員や無火災の分団に表彰が行われました。

二木弘団長は、消防団員の処遇改善への取り組みに感謝するとともに、「毎年のように激甚災害が発生している。あらゆる災害から住民の安全と安心を守るよう各種訓練を通じた技術の向上などに精進したい」とあいさつし、予防消防や災害への備えの決意を新たにしました。

式典後には分列行進が行われ、音楽喇叭隊の行進曲に合わせて、安曇野警察署前などを行進しました。

福を俵と神輿に込めて 1年の幸せを願う

1月8・9日 新田区・成相区「福俵引き」市無形民俗文化財

新年の伝統行事あめ市が豊科成相区と新田区で開かれました。宵祭りの8日には、神輿を担いだ若集が地区内の店舗などに福を奉納しながら練り歩き、奉納先では、豚汁やおにぎりなどが振舞われ若集を労いました。

翌日の本祭りでは、成相区・新田区それぞれの青年会の若集が威勢のいい「わっしょい」の掛け声と共に区内を練り歩く「福俵引き」が行われました。長野銀行豊科支店前では、福俵をめぐる綱の引き合いが行われた後、福俵が納められました。青年頭の丸山宏章さんは、「年々祭りの担い手が減少しているが、子どものころから楽しみにしている1年に1回の祭りを大切に盛り上げていきたい」、福俵を奉納された長野銀行豊科支店の塚平一彦さんは「福俵の奉納を機に地域で信頼される銀行としてさらに頑張っていきたい」と話しました。

